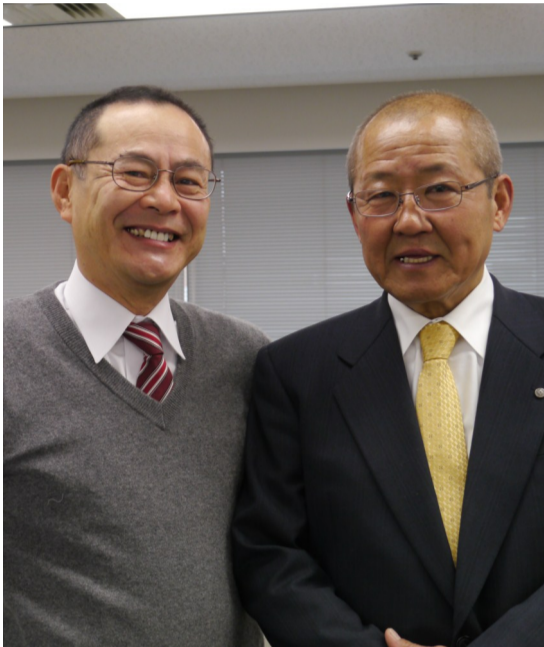


2013年新年号



ろっこう



長江社長と重村さん

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。今年は9連休と長い休みだったので、充実して楽しい休暇を過ごせたことと思います。毎年元日の夜には、ウィーンから「ニューイヤー・コンサート」が実況中継されます。最後から2曲目に演奏される『美しく青きドナウ』は、オーストリアで第二の国歌として位置づけられているのだとか。私はこのコンサートが開かれる楽友協会・大ホールに行ってきました!と言っても、実際に行ったのは昨年の夏のこと。本番のチケットはとても手に入りません。でも現地を見てきたおかげで、今年はとても臨場感がありました。クラシック音楽はあまり聴くほうではなかったのですが、新年の楽しみが一つ増えたような気がします。昨年はいくつかの失敗もありましたが、そこから得たものも大きく、総じて言えばよい年でした。年始にあたり、今年こそはと決意を新たにしています。

決める政治に期待

昨年末の選挙では自民党が勝ちましたが、理由の一つは経済情勢に違いありません。あまりにも経済に無知な政権運営が続いたため、多くの企業は後ろ向きの努力を強制されてきました。もういい加減にしてくれ、というのが経済人の実感です。そしてもう一つは、決められない政治でした。決められない理由をねじれて説明する向きもありますが、本当は前政権のリーダーが、「決める」ことの意味をわかっていなかったのが原因だと思います。私は社内でも、「決まると決めるは違う」と言います。リーダーの仕事は、時機を逸しないうちに方向を決めることです。〇〇が未定だから決められないと口をついて出てくる人は、当社のリーダーは務まりません。不確定要素が多く、相手の出方もはっきりしない中で、知恵を総動員して決めて、上手くゆかないところはすぐに修正する、それでもダメな場合はメンツに拘らずにやめる、という態度こそがリーダーに求められます。しかし前政権にはこのような習慣がなかったため、たとえねじれがなくても事を決められなかったでしょう。私は、悪夢のような3年半が終わり、日本が正気を取り戻しつつあるのを嬉しく思っています。新政権の景気対策には疑問符をつけたくなる点もありますが、コメンテーターのように批判だけしていても日本は取り残されるばかりです。新しい日本のリーダーには、今までの空虚な書生論を排し、現場をよく知る専門家の知恵も活用して決めて、実行することを期待しています。一方で少々心配なのは、自社の業績回復を政府に頼るような発言が経営者から出てこないかという点です。景気の回復と業績の回復は、関連はありますが別問題です。われわれはあくまでも、自分の力で企業を守ることを念頭に置く必要があります。

今年のキーワードは「次代のリーダー」

大晦日には、六興としてのキーワードについて考えました。キーワードとは、「××を達成する」というような目標ではなく、その言葉を中心に考えを展開するためのキーです。当社はお客様から一定の信頼を得ており、営業基盤は整っていると思います。また財務も大幅に改善しており、資金繰りに大きなコストをかける必要もありません。しかし現場はフル稼働を続けており、工事系の人材を効率的に育成せねばなりません。そして部署や現場といったチームの力を最大化するためには、メンバーの特性を把握して最適な配置をする必要があります。また何か問題が起きると新たな規則ができますが、規則が多すぎると守れる規則も守らなくなってしまいます。ですから新たな規則を作るだけでなく、廃止したり簡素化して守りやすくすることも考えないといけません。これらはすべて、リーダーの力

代表執行役社長 長江 洋一

量にかかっています。さらに少し長いスパンで考えると、経営幹部の交代時期も近づいてきています。競争力を維持するためには、他社の思いつかない仕事の仕組みを発想し続けることも重要です。こんな理由で私は、「次代のリーダー」を今年のキーワードに選びました。

次代のリーダーを育成するためには、まず決めることの面白さを知ってもらうのが有効です。小さなことですが、昨年末は本社の納会を若手社員に任せてみました。どんな企画か楽しみにしていたところ、本格的なジャズバンドから始まり、女子社員のダンスに続いてOBのカラオケ、さらに扮装した某支店長がバックダンサーを従えて歌い、大いに盛り上がりました。私もトリを務めさせていただきました。楽しい会でしたが、これも、企画、出演者の根回し、構成の検討、会場手配などを緻密に組み立てた結果です。別の例では、来月にWEBを更新するのですが、方針を与えただけでデザイン、訴える内容の整理、情報収集、取材などは若手のチームが独自に行っています。たったこれだけの事ではありますが、入社して年次が浅いタイミングで、何かを決める習慣づけとして有意義だったと思います。中堅社員に対しては創針塾IIとして、全社からピックアップした5~6人を対象に、組織論や経営戦略に関するケーススタディを毎月実施中です。第一期の創針塾は私が講師を務めました。IIでは第一期の卒業生に課題の選定と運営が任されています。さらに今年からは、若手役員を対象にした「役員合宿」も始める予定です。支店長をはじめとした当社の幹部は、優秀だと思います。しかし彼らもいつか退役するので、各階層に次世代のリーダーがタイムリーに生まれるパイプラインのような仕組みを作り上げるのが、私の目標です。

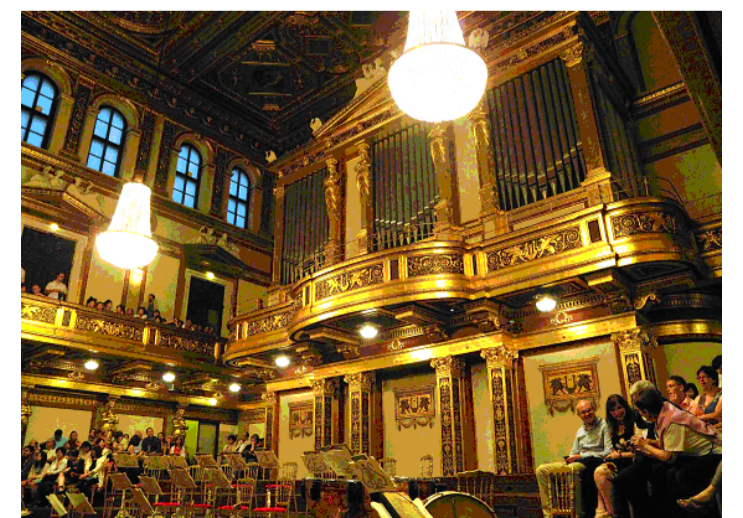
5級はリーダーの入り口

当社において、5級職はリーダーの入り口に位置づけられています。昨年も新任5級職14名の前で新任研修を行いました。その中で次の5つの標語について話しました。

①変わり続けるDNA ②原点ではなくゼロから考える ③決める
と決まるは違う ④お客様の視点から考える ⑤誇りを持って永世に伝えよう

これらの標語については、改めて説明する必要はないと思います。新任以外の5級社員も、ぜひ一度、これらについて自分なりに考えてみてください。

長江 洋一



ウィーン楽友協会・大ホール

目次

心機一転	2
第72期決算報告	2
六興電気のゆく年くる年	3
各地の竣工物件	4
ろっこうニュース	5~7
・最優秀部門賞~北関東支店~	
・創意工夫努力賞	
・祝 東京都知事賞!!	
・地域に感謝し、ボランティア活動	
・今後のエネルギーを見据えて	
・初代R-1グランプリ王者 決定!	
・Hafa Adai! GUAM-5	
お世話になりました	8
重村さん・加藤さん	
リレートーク	8
東京第三支店 並木さん	

心機一転 ～新任役員・部署長挨拶～

12月21日(金)、第71回定時株主総会及び取締役会が開催されました。ここでは、新任された役員と退任された役員、また新しい部署長の挨拶をご紹介します。



より一層の管理体制を

取締役兼執行役 エネルギープラント部長 森口 彰男

今振り返りますと、エネルギープラント部は過去から現在に至るまで、存続を掛けて必死の思いで取り組んできました。そんな我々の頑張りを認めていただいた結果として、この度取締役のご指名をいただいたと考えております。

業務内容が特殊な部署であるが故に周囲に囚われることなく自由な発想で新規分野にも取り組むことができました。その反面、スタッフは大変な思いをしてきたはずですが、部署の充実に向けて頑張りをを見せてくれています。現在、原子力発電所に対し非常に厳しい目が向けられております。我々はより一層の管理体制を整え、私自身が先頭に立って、お客様からの高い評価と信頼を第一とし、これまで通り六興電気らしく自由な考えや発想で取り組んでまいります。皆様のご指導とご鞭撻、宜しく願い申し上げます。



永世につなぐ

取締役兼執行役 九州支店長 芹川 健彦

先行きがなかなか見えない世の中ですが、当社はその中で勝ち残らなければなりません。それには一人ひとりが日々の業務の中で、「良い工事をする」「創意工夫を働かせる」「実力の養成に努める」ことを真摯に誠実にやっていくことこそ必要と考えます。その積み重ねが、顧客から第一に選ばれる企業、ここなら安心という企業をつくることに繋がり、「永世につなぐ」ということになると思います。

この度、取締役に選任されるにあたり、「施工力」「技術力」を基とし、特色ある六興電気の営業展開ができればと考えています。また、変わり続ける時代に応じた企業理念を構成し、展開していくことも必要です。与えられたその職責を全うすべく努力してまいります。



バトンタッチ

理事 斎藤 由徳

この度、執行役員を退任いたしました。2007年12月に拝命し、東京第三支店長として5年間務めました。就任依頼、第三支店を部署として軌道に乗せたいという思いで一生懸命やらせていただき、お蔭様で諸先輩に助けられながら、なんとか部署として自立ができてきたのかなと思っております。

後進にバトンタッチをするということで、今後は微力ながら部署をサポートして行きたいと考えております。この5年間、会社全体の手伝い等を行い、私としてはいい経験をさせていただき、感謝しております。在職中はありがとうございました。



粉骨砕身

マネジメントサポート部長兼システム開発室長 榎本 聡

MS部は、企画室と人事部の総務部門が統合し、社内外の総合的なサポートを受け持つ部署として10月より新設されました。マネジメント(会社)をサポート(サービス)する立場としてリコメンド機能を充実させ、信頼されることが重要だと考えています。部員一人ひとりがアンテナを張り、環境の変化やニーズをいち早くキャッチし、掴んだ情報を元に正しく判断し、適切に行動できるような部署運営を心掛けます。これまで養ってきた知識と経験を活かしながら、新たなステップに向けて柔軟に取り組むと共に風通しのよい職場づくりを目指していきます。若輩者ですが、「粉骨砕身」をテーマに全力で努力する所存でございます。みなさま、どうぞよろしくお願い申し上げます。



統制のとれた強い組織を作る

中国支店長 高橋 直和

新政権による経済対策の効果が見込まれますが、依然として厳しい受注環境の中での支店長の拝命、身の引き締まる思いと新しい闘志が湧いてきております。

今期の中国支店はマイナスからのスタートですが、社員のモチベーションは高く、一人ひとりが目標を掲げV字回復を成し遂げようと行動しております。その力を最大限に発揮するためにも、統制のとれた強い組織を作り、各セクションの若返りを進めながら利益の出る支店作りが急務です。私自身が支店の「身の丈」を十二分に把握した上で社員同士の意見交換を促し、各自が経営に参加していると自覚できる風通しのいい環境を作ります。「問題を予測し次から次と手を打ち、実行し、修正・改善を速やかに行う。それが当たり前に行える支店にしよう。自分たちで解決する支店にしよう」、今期掲げたスローガンです。今変わらねば後はない!!! その決意で社員一同部署運営に邁進する所存であります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



流れの上流を目指して

ゴム支店長 木村 宏太郎

年間100万人を超える日本人観光客が訪れるグアムの地で、昨年建設業許可を取得し、本年ようやくVISAの承認を得られ赴任する準備が整いました。1995年から段階的に実施されてきた米軍基地の縮小により連邦政府からの補助金も減少し、過剰な公務員と長期税収不足による財政難が続くグアムに一つの兆しがありました。2006年4月、在日米軍の移転計画。それに向けた現状脆弱なインフラの整備が始まっています。アメリカ軍が西海岸→ハワイ→グアム→フィリピンというアジア地域への前哨基地として捕らえるのと同様に、我々が六興電気もその流れの上流を目指して一歩を踏み出すべく赴任してまいります。今後とも変わらぬご厚情をお願い致します。

第71期決算報告 ～共同住宅を柱に受注高を維持～

貸借対照表

2012年9月30日現在

科目	金額	科目	金額
(資産の部)	(23,816,763)	(負債の部)	(13,313,677)
流動資産	21,005,614	流動負債	11,985,370
現金預金	8,124,156	支払手形	392,834
受取手形	2,962,219	未払金等	8,930,435
完成工事未収入金	8,904,236	未成工事受入金	1,422,506
未成工事支出金	244,496	その他	82,420
繰延税金資産	466,348	賞与引当金	338,174
その他	366,156	工事損失引当金	819,000
貸倒引当金	▲62,000	固定負債	1,328,306
固定資産	2,811,149	退職給付引当金	1,170,256
有形固定資産	593,292	その他引当金	158,049
建物・構築物	363,267	(純資産の部)	(10,503,086)
機械・運搬具等	74,813	株主資本	10,540,234
土地	155,212	資本金	500,000
無形固定資産	4,786	資本剰余金	160,680
電話加入権	4,786	利益剰余金	9,879,605
投資その他の資産	2,213,064	利益準備金	125,000
投資有価証券	651,159	その他利益剰余金	
長期貸付金	777,000	別途積立金	9,507,648
繰延税金資産	466,003	繰越利益剰余金	246,957
その他	325,912	自己株式	▲52
貸倒引当金	▲7,010	評価・換算差額等	▲37,148
資産合計	23,816,763	負債・純資産合計	23,816,763

損益計算書

自 2011年10月 1日
至 2012年 9月30日

科目	金額
売上高	36,762,563
完成工事高	36,500,802
兼業事業売上高	261,761
売上原価	33,797,794
完成工事原価	33,613,383
兼業事業売上原価	184,410
売上総利益	2,964,769
販売費及び一般管理費	2,314,381
営業利益	650,387
営業外収益	213,820
営業外費用	25,408
経常利益	838,799
特別利益	1,741
特別損失	604
税引前当期純利益	839,936
法人税、住民税及び事業税	460,741
法人税等調整額	156,595
法人税等合計	617,336
当期純利益	222,600

【経営成績に関する分析】

第71期の決算は、受注額35,044百万円(前期比▲0.5%)、売上高36,762百万円(前期比▲2.9%)となりました。受注については、当社の得意分野である共同住宅を柱としてほぼ前期並みの水準を維持できました。売上高については、第69期より全件進行基準適用を行っておりますが、第71期においては上半期の受注低迷により進行基準の出来高が上がりませんでした。同様に第72期への繰越工事は36,988百万円となりました。

利益面は、一部採算の厳しい工事を受け入れた影響に伴い、工事損失引当金(819百万円)を計上し、前期と比べ利益が減少した結果、経常利益は838百万円に止まりました。

【財政状態に関する分析】

貸借対照表の状況：資産の部は、完成工事未収入金等の増加で23,816百万円(前期比5.3%)、負債の部は工事未払金等の増加で13,313百万円(前期比8.6%)、純資産の部は

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	71期	70期
税金等調整前当期純利益	839,936	1,680,224
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	-54,272	2,244,185
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	47,747	-145,515
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	-74,981	-75,167
4. 現金及び現金同等物に係る換金差額	0	0
5. 現金及び現金同等物の増加額	-81,506	2,023,503
6. 現金及び現金同等物の期首残高	8,205,662	6,182,159
7. 現金及び現金同等物の期末残高	8,124,156	8,205,662

10,503百万円(前期比1.3%)となり、自己資本比率が44.1%になりました。

キャッシュ・フローの状況：「営業活動によるキャッシュ・フロー」が前期より減少しています。これは仕入債務の増加と売上債権の減少によるものです。これにより現金及び同等物期末残高は、8,124百万円(前期比▲1.0%)となりました。

(注)金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

六興電気のゆく年くる年

本社のゆく年



12月28日(金)、一年の締めくくりとして2012年納会が行われました。六進会と六友会の方にも参加していただきました。お越しいただいた方々は思い出話を酒の肴に、おいしい食事とお酒を楽しまれているようでした。

また、今回はこれまでと趣向を変えて本社付近にある芝パークホテルで行い、有志の方々による出し物大会を行いました。出し物は8組の参加者がカラオケやダンスなどを披露してくださいました。トップバッターの長江本部長はご友人と一緒に本格的なジャズを演奏し、会場は一気に盛り上がりました。六進会代表の金澤電興㈱の金澤会長や六友会の小高さんはカラオケを披露してください、会場の全員がその美声に酔いしれました。その他にも女性社員と男性社員によるAKBのダンスには会場が笑いの渦に巻き込まれ、東京第一支店の文倉支店長はジャニーズの曲を熱唱していました。大トリは長江社長自らカラオケを披露しました。出場者によっては事前に練習を積んだり、衣装にも力を入れたりするなど、出場者も会場の全員も楽しんでいるようでした。

最後は昨年に続き抽選会を行いました。商品数が少ない分、目玉商品が目白押しでした。特賞はダイソンの羽のない扇風機であり、この特賞を引いたのがなんと司会を務めていた私でした。司会が特賞を引いてしまうという空気の読めない展開で、会場の全員からブーイングを浴びてしまいました(笑)。大いに盛り上がった今回の納会に参加された皆様は、新年に向けて英気を養えたのではないのでしょうか。

年末年始は9日間と例年より少し長めの休暇でしたが、ゆっくり羽を伸ばすことはできましたでしょうか。2013年も昨年以上に良い年になるよう、頑張りましょう。(MS部 鳥居 広明)

神戸支店 内山 彩那さんのゆく年



彫刻」と謳う幾何学模様的美しさは神戸でしか見る事が出来ないで、毎年楽しみにしています。まだまだ行ったことがない場所がたくさんあるので、新しい神戸探をしつつ、癒しの時間を楽しみたいと思います。

私が神戸に来てから、もうすぐ3年になります。社会人になって環境が変わり、最初の頃は時間に追われるように日々を過ごしていました。時間経過を肌で感じようと思ったのがきっかけで、季節毎のイベントに参加するようになりました。一時的に日常から離れて四季を楽しむのは、今では私にとって癒しの時間です。春は夜桜、夏は花火、秋は紅葉、そして冬はイルミネーションということで、年末に神戸ルミナリエを見てきました。「光の

新潟支店 前田 伸樹さんのくる年

あけましておめでとうございます。我が家では毎年、年明けに妻の実家へ帰省します。帰省と言っても同じ新潟県内の糸魚川市ですが、妻の地元は海あり山あり自然豊かな場所なので、子供達は毎回いろいろな経験をさせてもらっています。

去年は2人目が生まれた都合で帰省できなかったのですが、今年は家族で初めてスキー場へ行ってきました。子供達は真っ白なゲレンデに初めはビックリしていましたが、次第に慣れて大はしゃぎ!! そり滑りをして、家族で楽しい時間を過ごしました。

日頃は子供との時間がなかなか取れないので、休みの日は子供とふれあう時間を大切にしていきたいです。今年も宜しくお願いいたします。



横浜支店 相澤 一真さんのくる年

正月は近所の天満宮に初詣に行って家族の健康を願ったのですが、それとは逆に私はおせちにお雑煮、酒浸りと健康を気遣わずにのんびり過ごしました。昨年10月に長女が誕生し、長男だけでも騒がしかった我が家が更に騒々しくなっています。誕生した娘の名前を麦(むぎ)と名付けました。ビールが好きだから?とよく聞かれます。確かにそれもありますが、「一粒の麦」という聖書の一節を気に入ってクリスチャンではありませんが名付けました。人のために尽力できる人間になって欲しいという願いを込めました。私も名付けた責任がありますから、人の気持ちを考えられる人間になれるよう日々努力したいです。皆様にとって素敵な一年となりますように心よりお祈り申し上げます。



大阪支店のゆく年くる年

新年明けましておめでとうございます。大阪支店の年末年始の恒例行事についてご紹介させていただきます。

年末は、最終出勤日28日の午前中に大掃除を行い、午後から納会を行うのは各支店と同じだと思いますが、大阪支店はゴミ収集車を個別に手配し1階から4階までの1年間の溜まったゴミを処分してから新年を迎えるようにしております。

新年は、初出の日に日本三大祭の一つである天神祭が行われる大阪天満宮(支店から歩いて数分)で安全祈願を行います。大変有名な神社なので、こちらの希望する日時を押さえるために、新年の安全祈願の予約開始日の10月1日の朝に予約手続きをしております。残念ながら昨年は大阪支店では事故がありました。今年は無事故・無災害・商売繁盛をしっかりと祈願していただきました。

新生大阪支店の新たな一年が始まっております。皆様方のご指導・ご支援をいただきながら、この一年の目標達成に邁進したいと思っております。(大阪支店 東出 博美)



しっかり安全祈願してきました!

各地の竣工物件

白山やすらぎ

契約先 ㈱福田組
設計監理 ㈱協立建築設計事務所
工期 2012年2月～2012年9月
施工場所 新潟県新潟市中央区川岸町
建築概要 延床面積 5,771㎡
RC造 3階 91床
施工部署 新潟支店
協力業者 ㈱坂電工業、㈱佐々木電気



当物件は、新潟市の「新潟市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において、特別養護老人ホームの大幅な前倒し整備工事の第一号にあたる物件でした。建設場所は、当社で施工した「メルパーク」の跡地で、基礎工事中に地中障害が発生したのを覚えています。

当現場は、A・B・Cの3工区に分けての躯体工事でした。敷地が狭かったため、C工区については、揚重機を据えるエリアとし、A・B工区が上棟してから躯体工事(基礎から)をスタートするという工程でした。そのため、C工区の工程が非常にタイトで、またC工区が上棟しないと、キュービクルと発電機が搬入できないといったのが、ひとつの悩みでした(電気室が屋上にあつたため)。この点については、建築と密に打合せを行うということで、搬入作業もスムーズにできましたし、その後の受電、送電作業も工程通り進めることができました。

最後に、竣工までに、協力業者の方をはじめ、支店の皆様からも様々な協力をいただいたおかげで、無事に無事故で引渡しをすることができました。この場を借りて、各関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(新潟支店 永島 義彦)



介護老人保健施設 葵の園・江別

契約先 東急建設㈱
設計監理 ㈱札幌美垂事務所
工期 2011年10月～2012年5月
施工場所 北海道江別市大麻南樹町
建築概要 延床面積 5,465㎡
RC造 地上4階
施工部署 北海道支店
協力業者 ㈱池田電気



今回、北海道支店にて施工しました社会福祉法人新生会葵の園・江別新築工事は、JR大森駅から徒歩10分の場所に位置します。建築用途は、介護老人保健施設で、入所100床、通所40名の地域密着型のケア施設です。内部の照明器具は、すべてLED照明を使用し、屋外の街灯には太陽光発電付外灯を取り入れ、環境や節電に力を入れた設備が充実しています。

施工に関しては、実質工期が5ヵ月しかなく、また冬季間の工事ということもあり、躯体工事が遅れるなど、なかなか厳しい工程でした。ですが、先行配線がスムーズに進むよう、スラブ配管等で配線ルートを確認することにより、工程の平滑化が行われ、工期を通して突貫状態となっていた中で、当社は比較的順調に工事運営を行うことができました。また、機械警備や

情報通信などの別途工事業者と密な打ち合わせを行うことにより、手戻り作業がなく、スムーズに施工することができました。

最後に、今回の施工に携わっていただいた協力業者の皆様や、応援に来ていただいた社員の方々のご協力のおかげで無事に竣工することができました。本当にありがとうございました。(北海道支店 荒谷 学)



マミーマート川越生鮮センター

契約先 前田建設工業㈱
設計監理 前田建設工業㈱
工期 2012年3月～2012年8月
施工場所 埼玉県川越市
建築概要 延床面積 7,999㎡
S造 2階
施工部署 北関東支店
協力業者 ㈱山一電設



川越市は埼玉県南西部に位置し、江戸時代には川越藩の城下町として栄えた都市で「小江戸」の別名を持ち、城跡・神社・寺院と歴史的建造物が多い街です。また埼玉県最大の工業都市でもあり、市内の住工混在の解消を図っています。当物件はそんな川越市西部の川越総合地方卸売市場敷地内にある物件です。

工期が5ヵ月と短く、基礎工事、鉄骨建て方から内装工事へと移り変わった時、受電まで1ヵ月、残りの工期が残すところ2ヵ月となっていました。食品工場ということで、天井・壁が断熱パネルになっており、断熱パネル貫通部の防熱処理、結露対策の計画に悩まされました。工程的に一番忙しい時期の7・8月は、日差して焼けた折板屋根と断熱パネルで塞がれた天井内の作業がメインで、電気さんは皆、顔は真っ赤になり熱中症でいつ倒れてもおかしくないようなサウナ状態の環境での作業が続きました。

8月のお盆前から冷蔵庫・冷凍庫の冷し込みが始まり、外気温は30度を超え、室内は10度前後、冷凍庫は氷点下、さらに天井内ではサウナ状態と、真夏で防寒着を脱いだり着たりと



暑さ寒さの繰り返しと、連日遅くまでの作業で、皆の体調を心配する日が続きましたが無事に引き渡しを迎えることができました。いろいろと迷惑かけましたが、協力業者の皆様や支店の皆様、各メーカー、代理店の方々のご協力があったからこそ無事に竣工を迎えることができました。工事に携わった関係者の皆様に感謝致します。本当にありがとうございました。(北関東支店 長澤 佳宏)

ゼビオアリーナ仙台

契約先 佐藤工業㈱
設計監理 佐藤工業㈱、㈱アーキボックス
㈱とお一級建築士事務所
工期 2011年8月～2012年9月
施工場所 宮城県仙台市太白区あすと長町
建築概要 延床面積 11,708㎡
RC造 地上3階 地下1階
施工部署 東北支店
協力業者 大日電気工業㈱、㈱栄電業
若林電気工事㈱、㈱水口電気他



当現場は、仙台駅より南に5kmほどに位置し、スーパースポーツゼビオのお店の横にゼビオアリーナとして建設されました。座席数は4,002席あり、国内最大級のマルチセンターディスプレイ、リボンLED、大規模音響設備などがあり、イベント時には素晴らしい演出をすることができます。バスケットボール、バレーボール、フットサル、アイスホッケー、アイススケート等いろいろなスポーツ・イベントに対応しています。この前はボクシングも行われました。

工事中苦労した点は、建物の屋根部分がトラス鉄骨構造となっており、施工的に一番苦労した箇所です。「ゼビオアリーナ仙台」と検索していただくとその構造がお判りになると思います。亀の甲のような形状となっており、地上20m以上での作業は、実際に作業していない私でも毎日緊張していました。キャットウォークには10回ほど登りましたが、高所恐怖症の私は毎回足が震えていました。工期的にも躯体が遅れた分、仕上げ工程にかなりの影響が出てきました。そのような中、協力業者様また支店のみんなに協力していただき無事竣工することができました。

良かった点は、工事人生の中でもなかなか経験できない建物に携われたことです。病院、老人ホーム、マンション、学校等経験しましたが、アリーナは初めてでした。初めて最後かもしれないですが、良い経験をすることができました。この経験を今後の現場で活かしていきたいです。(東北支店 高橋 誠二)



ろっこうニュース

最優秀部門賞 ～北関東支店～



第71期は、大型現場の完成や官庁工事の受注などの好条件が重なり、目標を大きく上回る利益の達成ができました。また、いつも好成绩の各支店が思いのほか伸び悩んだことも大きく影響しての結果だと受け止めています。

また、ここ数年、支店員の意識が変わったことを感じています。少しでも利益を出そう、残そうという気持ちを全員が持ち始めており、そういう気持ちをみんなが共有して一人ひとりがコツコツと積み上げた結果が表れたものと思います。

北関東支店は、粘り強く、我慢強いのが持ち味の支店です。これからも、地味ではありますが、「明るく・元気に・遅しく」、目標に向かってコツコツと実績を積み上げていきたいと思えます。今後ともよろしくご指導・ご支援くださいますようお願いいたします。（北関東支店 金子 隆）

最優秀部門賞 北関東支店

優秀部門賞

・受注業績	(達成率)
1位 北関東支店	(148.5%)
2位 エンジニアリング事業部	(121.9%)
3位 エネルギープラント部	(118.4%)
・施工業績	
1位 エンジニアリング事業部	(121.9%)
2位 エネルギープラント部	(120.7%)
3位 大阪支店	(100.1%)
・受注総粗利業績	
1位 北関東支店	(160.0%)
2位 エンジニアリング事業部	(153.8%)
3位 静岡支店	(148.9%)
・施工総粗利業績	
1位 エンジニアリング事業部	(169.3%)
2位 北関東支店	(135.9%)
3位 東北支店	(127.5%)

創意工夫努力賞

金賞 エンジニアリング事業部 濱田 博美 他計4名
「携帯基地局建設工事関連コンサルタント業務」



チームのメンバー

私たちのチームは2007年からエリクソン・ジャパン様より労働者派遣契約・業務委託契約を継続的にいただいております。それもチームリーダーをはじめ、契約当初から主要部員が精力的に業務に携わり貢献してきた結果、高い評価を

いただけたのだと思っています。

エリクソン・ジャパン様はソフトバンクモバイル様の業務全般を請け負っている企業で、現在はプラチナバンドとLTEのエリア拡大のため、携帯用電波を発射させる携帯基地局建設工事全般の業務を行っております。その中で私たちのチームの担当業務は、主に見積りの精査です。工事件数が1万件あり、協力業者から見積書受領→見積精査→お客様と折衝の一連の作業を数か月で処理しなければならず、見積データと格闘する日々を過ごしています。また外資系の企業ということで書類・機器仕様書・メール等はほとんどが英語です。それをいちいちゼロから調べていたら時間がいくらあっても足りませんので、とにかく周りの人達に片端から聞くことを心がけて、少しでも早く業務内容を覚えることに努めてきました。

我が部署の標語は「プレッシャーを愉しみ、柔軟に考え、迅速かつ大胆に行動しよう!」で、正にこの通りだと思います。新しい業界、仕事の環境、やり方の変化など日々プレッシャーとの戦いですが、良い機会と捉えて自分から進んで行動できるよう、そして引き続きエリクソン・ジャパン様には現プロジェクトの遂行に対し真摯に取り組み、部署の業績向上、受注の拡大に繋げていきたいと思えます。日々の精進を怠らず、チーム一同業務に邁進してまいります。このような栄えある賞を誠にありがとうございました。

金賞 千葉支店 田中 千春・中野 雄一郎
「千葉みなとプロジェクト」



当物件は、JR京葉線千葉みなと駅に所在し、隣地にポートパークがあり千葉港の岸壁際に建設された「都市の利便性と海と緑が存在する好環境」であります。

着工時は岡崎が担当しており躯体工事が立ち上がり始めたころ、諸事情により現場が中断して1年と8ヵ月後の再開となり、当社スタッフも新たに中野、関口の3人体制で再スタートしました。しかし、その頃はリーマンショック等の煽りを受けて当初の世の中の景気とは一変しており、客先様より単価の見直しを迫られると同時にCD・VE案を条件に減額の約束を

して再開となりました。

再開してみると、それまでに前任者が築き上げた事業主様・ゼネコン担当者様からの信頼があり、スムーズに進めることができ、その後もより一層の信頼関係を築くことができ、竣工まで大きな問題もなく引き渡すことができました。この関係が元になり、変更提案や工程調整がスムーズに決まり、大きな手戻りややり直しもなく、他職に関しても同様に完工することができたと思っています。棟間の電気、設備の外構工事を全面的に建築外構業者により掘削工事が一括でできたことや、住戸仕上工事のサイクル工程を当社にて原案を考えて電気、設備工事が有利になる工程を採用してもらいました。どの物件もそうですが、現場だけの努力ではなく、会社・支店・現場一体で得られた結果だと思っています。

協会様をはじめ関係各社様には、「ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします」と改めて言わせていただきます。

金賞 千葉支店 小山 雅史

「安房地域医療センター救急棟」

今回は増築工事で、地上3階・RC造の建物を新築しました。受電方式は既存棟の主変電設備から高压分岐をして新棟に供給したため、埋設高压配管の切り回しや既存発電機の大規模な改修を要する現場でした。

この現場で苦労した点は、既存敷地内での増設ということもあり、既設高压引込ルートが新築予定地の真ん中を走っていたため、埋設配管の切り回し工事が必要となったことでした。主変電から新棟への高压分岐や引込の切替と、救急病院としては最も気を使う停電工事が2度もあり、病院側との停電調整の打合せには苦労いたしました。工夫した点は、予算管理で、マイナス金額での受注ということもあり、なんとしてでも回復をと思い、VE・CDは当然として、病院からの別途工事の取り込み、工事提案、本工事請負時の掛け率を追加工事に影響させないことでした。

無事、竣工を迎えられたのは、現場の職人さんをはじめ、工事に携わった関係者の皆様のお陰だと思っています。この場を借りて、御礼申し上げます。



その他の創意工夫努力賞一覧

金賞

東北支店	高橋 誠二 他計5名	「あすと長町1街区13画地プロジェクト(アリーナ棟)」
横浜支店	久保田 修	「東陽倉庫相模原2号倉庫改修」

銀賞

首都圏本部	佐藤 仁	「電気工事士技能大会のコーチとして、選手1名を3位に入賞させた功績」
東京第一支店	小岩 伸也 他計4名	「西浅草3丁目計画新築工事」
北関東支店	小野 谷晃 他計4名	「与野上落合住宅建替工事」
横浜支店	河合 健吾 他計4名	「ケアプラザさがみはら新築工事」
横浜支店	大村 茂	「ニチイきらめき戸塚深谷有料老人ホーム新築工事」
		「日本埠頭倉庫株新山下営業倉庫新築工事」
静岡支店	高野 誠 他計5名	「富士カプセル株北山工場第二製剤電気設備工事」

銅賞

東京第一支店	石川 和史	「品川区大崎二丁目計画新築工事」
新潟支店	永島 義彦	「特別養護老人ホーム白山やすらぎ新築工事」

ろっこうニュース

祝 東京都知事賞!! ～工事士技能大会～



3位「東京都知事賞」受賞おめでとう!!

第45回目となった電気工事士技能競技大会は、10月23日に東京武道館にて開催され、29社46名の参加でした。

今年は2010年入社の中島直紀君と2012年入社の佐藤友哉君が出場しました。川口寮研修室では小西部長と佐藤部長、および六進会各社から熱のこもった指導を受け、パイプ曲げ加工から練習に励みました。結果として、中島君は見事3位「東京都知事賞」を受賞しました。また、2012年入社の電気工事士達も先輩・同期への応援に駆け付け、来年は是非出場したいと熱く語っていました。(技術本部)

<中島君と佐藤君へインタビュー>

①練習中はどうだった?

中島「金属配管工事は、現場で何本かやったことがあったので、ある程度はできていたと思います。しかし、セーリスBOXに入るS曲げは初めてだったので、できるようになるまで苦労しました。2種類の大きさの90度曲げは切り替えがうまくいかず、途中スランプに陥ってしまったので悩みました」



佐藤くん

佐藤「金属管を触ったことがなく、切るところからのスタートでした。中島さんが配管を曲げている姿を見て、私もできるかもしれないと思いましたが、いざやってみると潰れたり、キレイに曲がらなかったり、難しさを実感しました。また、大きい90度曲げは形が歪んでしまい苦労しました」

②大会の時の感想は?

中島「なんといってもプレッシャーがすごかったです。人に見られていることもあり、それ以上に会社の看板を背負っていると思うと心が折れそうでした。大会が始まれば緊張も無くなると思いましたが、どんどん増していきました。もう少し練習を重ねて度胸をつければ良かったと思いました」

佐藤「当日は私の作業場が通路側で、人が多くとても緊張し体が重く感じました。大会が始まって少し緊張が和らぎましたが、作品が完成して試験を行ってみると、配線の間違いが見つかって、時間内に作業が終わらず減点となってしまいました。とても悔しいです」

③大会の結果を聞いた時の心境は?

中島「作品の出来は自分では納得できていなかったのですが、3位に名前を呼ばれてとても驚きました」

佐藤「順位を聞いて自分の技量を知ることができたので、出場して良かったと思いました」

④全体を通しての感想をどうぞ



中島くん

中島「練習中、思うように結果を出せず、焦りばかりが募り、つらい時もありました。それでも諦めずに続け本当に良かったです。ご指導くださった皆さまには、本当に感謝しています。どうもありがとうございました」

佐藤「今回、初めて行う作業がほとんどでした。配管曲げなどは、曲げ終わった配管を並べてみると、自分の技術が少しずつ上がっていくのが目に見えるのでとても楽しかったです。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました」

地域に感謝し、ボランティア活動

今回初めて会社のボランティア活動に参加してみて、予想以上のゴミの多さに驚きました。人通りの多い大通りには、たばこの吸殻、空き缶、瓶、ビニール、ガムのこびり付きが目立ち、瓶・缶に関してはまだ中身が入っているものもありました。主に植栽の中、自転車のカゴ、建物と建物の間が特に多かったように思います。次に線路沿いに向かってみると、大通り以上にゴミが多く捨てられていました。フェンス際には、オーディオ機器や部品までありました。

やはり目に付きにくい場所に捨てられていることが多いように見受けられました。先に捨てている人がいるため、他の人にも捨てても大丈夫という気持ちが生まれ、ゴミが増えている状況になってしまっているように感じました。

今回ボランティア活動に参加したことで、少しは社会に貢献できたのではないかと思います。また自分も含め、初めて参加した人も何か気づいたり感じたりしたことがあると思うので、これからの行動に活かしていけたらいいなと思います。

(東京第一支店 柴田 一平)



ゴミの多さには驚いたけど、楽しく活動できました

ジョイントケーブルを作ってみました



池上さんも緑川さんも真剣

結線チェックの試験器を製作して、数カ月が経過しました。プロジェクトの方向性を決める打合せが行われ、ジョイントケーブルの試作を行うこととなりました。ケーブル採寸に必要な資機材の整備、ケーブル加工図の作成、ケーブル及び接続材、収納BOX等と準備が進み、作業当日を迎えました。採寸・切断・被覆剥ぎ取りの後、接続表による結線作業が進められました。このときの作業を行った二人に感想を聞いてみました。

緑川さん「汗をかきながらのケーブルの切断、被覆剥ぎ、接続と電気工事士試験の記憶が甦ってきました。初めてのうちは辿々しかった検尺作業も回数を重ねることに慣れてきて、気が付いたら夢中で作業をしていました」

池上さん「結線作業は正確に接続しないと合格品にならないというプレッシャーで、特に緊張しました。そして、初めて使用する工具のコツがよくわからず力を入れ過ぎたものもありますが、全体的にかなりハードな力仕事でした」

出来上がった製品をチェックする際に、前回製作した試験器の改造が必要となったため、接触の安定性・確実性を向上するクリップを取付しました。試験では、試作品すべてが合格品となり、製作方法・結線の正確さを証明できて満足の結果となりました。今後、改善点を抽出し、より向上できることを目標に尽力したいと考えます。(技術本部)

今後のエネルギーを見据えて



広大な土地にある太陽光発電所

自然エネルギーを利用したカリフォルニアの発電事情を視察に行ってきました。何せ、アメリカは初めて。アメリカの広さなど理解せず、ましてこれから始まる旅の強行軍など想像すらしない観光気分でした。しかし、視察の本当の姿は都市や町をかすめるように移動し、広大な砂漠と草原を走り抜け、映画に出てきそうな田舎町や山の中へ入って行く、1日300～500km移動のバスのハードな旅でした。

まずは、1年間300日以上晴天を利用した太陽熱発電所。そんなに晴天の日があるのかと感心。なぜか、毎年6月21日13時に最大発電量を記録するらしい。次は、民家なんてどこにあるのか? 広い草原の丘に建つ数千基もの発電用風車、とてつもなく広い丘の斜面に乱立する風車の林。なるほど、これなら騒音公害の問題も無く、点検もラク、商売になると納得でした。次は、やっと観光で大自然のヨセミテ公園。早朝の晴天の中、絶壁に登る人影を小さく遠目に見て「こんな綺麗な場所は見る所、登る所じゃないよな」と思う。最後は、地熱発電。4,000mの地下から噴き出す蒸気を利用して発電しています。ヨセミテから続いている自然の中、やはり民家が少ない中にある発電所。蒸気の枯渇やそれに伴い頻発する地震の発生があっても、周囲に与える影響は小さいかなと思えました。

視察を終えて思うことは、ほんの触りでも広大な北米大陸、自然を経済的に見合うよう利用できるのは、このような広大な環境が必要なのだろうと、帰りの飛行機の中で考えていました。(EP部 森口 彰男)

“ろっこう”が選ぶ優秀安全標語

各支店の安全朝礼などで採用された安全標語の中から、新聞委員会で最優秀作品を選びました。

「ルールを守って 守らせて



作り上げよう “安全職場”
(沖縄営業所 澤田 陽介)

人は自分を映す鏡という言葉があります。「ルールを守ってくれない」「言うことを聞いてくれない」、仕事をしていく上でこのような悩みを何度も経験されていると思います。このような時、まず自分がルールを守って、それを他の人たちにさせる。そうすれば自分の言うことに説得力が出ると思いますし、それを見てルールを守るようになると思います。そしてそれを続けることによって、また別の人に伝わっていくと思います。皆がルールを自然に守る環境を作ることが安全につながると思います。

初代R-1グランプリ王者 決定!



連覇を誓うグアムチーム

このたび、第1回R-1グランプリを開催いたしました。今回は栄えあるグランプリを受賞したチームリーダー：グアム支店佐藤雅之さんに優勝コメントをいただきました。グランプリ授賞式には、新任グアム支店長の木村さんの流暢な(?)英語のスピーチもありました。ただし…R-1グランプリもまだまだこれからです! ぜひ来年度は他チームの皆様もグランプリ奪回を目指して頑張ってください。

(米軍工事支援センター 信氏 美紀)

R-1グランプリに参加した皆さんお疲れ様でした。TOEICにチャレンジしたことのある人なら分かると思いますが、2時間のテストはとて疲れますね。特にテスト前日の金曜日に現場の仕事を遅くまでやっていたりすると、後半のReading Testの頃には眠気が襲ってきます。私も過去には眠気からペースが落ちて、最後の30問くらいをデタラメにマークしたこともありました。

今回はグアム支店が第1回目の優勝チームになれたということで、海外組として面目を保てたかなとホッとしております。次回のR-1グランプリでは前年成績からの点数上昇率によるランキング等も検討されているそうです。まずは参加者全員の平均点向上を目指して頑張りましょう! グアム支店も連覇目指して頑張ります!!

Keep make every effort. Good luck to you!

(グアム支店 佐藤 雅之)

親睦を深め、さらなる協力体制を

11月14・15日に、群馬県の伊香保にて双六会初冬懇親会が協力会社14社14名と社員17名の計31名で盛大に開催されました。

初日は標高約700mの黄金の湯(湯の中に含まれる鉄分が空気に触れ、酸化して独特の茶褐色になる)の伊香保温

泉に浸かり普段からの疲れを吹き飛ばした後、夕方から懇親会が開かれました。協力会社社長の皆さまと、エリアを超えた情報交換がされ、2次会を含め夜遅くまでの前夜祭となりました。翌日は晴天に恵まれ、初寒波の寒さに耐えながら、7組28名により昼食休憩も取らずに18ホールを一気にラウンドするスループレーによるゴルフコンペが開催されました。紅葉の中(私はゴルフより紅葉観賞が目的)、年老いた体に鞭を入れ、和気あいあいと進行しました。最後には疲労により言葉少なく、お腹を減らしながらも、無事に終了となりました。ちなみに優勝は、双六会初参加の千葉支店 岡本支店長、準優勝は茨城支部(有)ヤマト電設の山野さんでした。

双六会は夏・秋(初冬)に行われます。首都圏の情報交換や親睦を目的としていますので、次回ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。(技術本部)



楽しく活用してください

当社では、鴨川・湯沢・那須塩原・山中湖にあるリゾートマンションを保養所として開放しています。一泊1,000円程度で、社員同士はもちろん、ご家族・友人と利用することができます。あるのは知っているが、利用したことがないという方も多いのではないのでしょうか。

今回、利用した感想や、お勧めスポットを紹介させていただきました! 雄大な自然に癒されるもよし、レジャーやイベント時の宿としても、ぜひぜひ活用してくださいね! ご連絡はMS部までどうぞ。お待ちしております♪ (MS部 木内 久瑠美)

<鴨川保養所>

鴨川の良いところは、①高層階で景色が良い ②静かに過ごせる ③徒歩圏に色々な飲食店やコンビニがある、ということです。これはと言う店はあまりないのですが、鴨川と君津ICを結ぶ県道24号線沿いは、量と品質でいつも満足させてくれる「鮮魚池田」や、伊勢エビスパゲティなんてのを出してくれる「イタリアンレストラン キッズ」があります。



観光スポットは、鴨川シーワールドや、ブルーベリー摘み取り体験(美味しかったです)等豊富ですが、それだけでは面白くありません。私は上記の所は飽きましたので、今は水中に潜る方を楽しんでいます。水中に入ると、多くの魚が泳いでいます。見たことないサイズのマグチや、クエ、ヒラメ、イナダ、鱈…それらが自然の中に居るのです。図鑑や水族館とは異なった色と姿です。襲ってくる魚も居ますよ。

資格がなくても体験ダイビングという方法があります。浅い海しか潜れませんが、結構面白いですよ。グアムやハワイでは多くの方が体験ダイビングをしています。海外に行かなくても房総でできます。来年の夏に如何でしょうか?

(東京第三支店 丸山 良雄)

<湯沢保養所>

昨年9月の連休に越後湯沢の保養所へしばらくぶりに出かけました。子供の頃に行った記憶が残っていたようで、自分の子供もつれて一緒に泊まりたいと長女が誘ってきたのです。越後湯沢といえば冬のスキーと思い込んでいましたが、様々なイベントや自然の中で遊べる所が沢山あるのに驚きました。今回の目的は「越後妻有アートトリエンナーレ」です。十日町市、松代町、津南町の広大な土地の中に世界44か国から参加した現代アーティストの作品20組が屋外展示されています。難解な作品もありましたが、自然と一体となってゆったりとした時間を過ごすことができました。

部屋は家族で泊まるには十分な広さで、大浴場も広く、露天風呂も温水プールもあります。窓越しに沢の音を聞き、満天の星を見ながら、たまにはリフレッシュしてみませんか?

(開発営業部 伊藤 隆夫)



ホワイトプラザ湯沢V プラージュ

*** おしらせ ***

10月~12月の採用

マネジメントサポート部	係	木内 久瑠美
人事部	係	長江 彰
東京第一支店	工事主任	佐々木 義和

受注!

- ・多摩ニュータウン南大沢計画 (東京第二支店)
- ・北品川ホームズ発電機設置 (東京第三支店)
- ・茨城町立桜丘中学校校舎改築 (茨城支店)
- ・西宮市・高塚町計画 (大阪支店)

1月~3月のスケジュール

月	経営会議	行事等	特別休暇
1月	6日	7日:仕事始め	
2月	2日		
3月	2日	中間決算期 25日~:新入社員研修	

Hafa Adai! -5th



Hello! 今回は、グアムの場所についてお話ししたいと思います。旅行先として有名なグアムですが、実際にどのあたりにあるのかは分からない人が多いのではないのでしょうか。グアムは東京から南南東に2,500kmほどの太平洋上に位置しています。2,500kmというと札幌から鹿児島くらいの距離で、飛行機で行くと成田空港からグアムまで3~4時間ほど(ちなみに成田から沖縄までは2時間半くらい)。成田からハワイまでが7~8時間かかることを考えると、グアムの近さが分かります。また、沖縄からグアムへは近いようなイメージがありますが、

実は東京から行くのと大して変わりません。フィリピンからの距離も同じくらいで、台湾や韓国も含めたアジア各地にとって「近いアメリカ」なわけです。

グアムは、ハワイとは違って日付変更線の西側にあり、「Where America's Day Begins(アメリカの一日が始まる場所)」とも呼ばれています。グアムと日本の時差は1時間。「日出ずる国」日本よりも早い「Happy New Year!」を叫びに、お正月はグアム旅行というのも良いかもしれませんね。

By Masa



お世話になりました

重村 恭史

明けましておめでとうございます。私は昨年12月にハッピーリタイア致しました。24歳で入社し40年余りが経過いろいろなことが走馬灯の如く廻ってきます。嫌なこと、つらいこと、悲しいこと、楽しかったこと、振り返れば全てが一瞬の出来事のような気がします。そして、その全てが楽しい思い出です。ふと気がつけばもう65歳を過ぎている。あと何年、これからは人生のゴール目指してまっくら? そうならんためにも何か趣味でも! もう手遅れかな!

今振り返ってふと思い浮かぶのは本部長時代、支店長時代、営業部長時代ではありません。工事担当、営業担当時代のことです。初めて担当させてもらった現場のことは、ゼネコンの主任の名前と顔、施主の顔と人間性、現場の平面図まで浮かんできます。たぶんこの仕事に、この会社に向いていた、そして友人・上司に恵まれたんだと思います。お蔭で素晴らしい人生を送らせてもらいました。それらを、原稿用紙1枚では書くことができません。今はただ、「老兵は死なず、ただ消え行くのみ」の心境? です。

私が退任したからと安心しないように! これからは毎日が暇、いつ何時、現れるか分かりません。その時は嫌な顔しないようお願いいたします。それでは、皆さんに感謝! 感謝! ありがとう!

加藤 新治

41年を超える長きに渡り、六興電気には大変お世話になりました。思い起こせば、昭和46年4月に80数名の同期とともに入社し、直営工事部に配属となりました。1年を過ごした後、電設工業会が若い技術者を養成・教育を目的として創設した電設工業大学校の第1期生として社内選抜により本社積算部に籍を置き、夜間に学校へ通う生活を3年間勤めました。この時期の積算の業務と並行して技術者としての教育を受けたことが、今日まで六興電気に籍をおく一番大きなきっかけになったと思っています。

卒業後、工事一部(官庁工事)の所属となり初めて赴任した現場が千葉大学附属病院新築工事で、それが現場代人としてのスタートでした。工事一部では病院・会館・研究所等の電気設備工事の基本を学びました。プラントエンジニアリング支店では、ごみ処理施設・水処理施設・工場・特高変電設備等、箱物施設では巡り会えない計装工事や15万ボルトの耐圧試験などを経験しました。第三支店では、多種のリニューアル工事に携わることができました。六興電気でも多種・多様な工事に係わったことで、私自身の知識とスキルアップにつながったと共に、今では長かった出張が楽しかった思い出です。最後の所属となった東京本店積算部においては、上記の電気工事における経験と知識が大変役に立ったことは言うまでもなく、多くの諸先輩、各地でお世話になった協力業者の方々及びメーカー・代理店の方々に深く御礼を申し上げます。今後の六興電気の発展と変わり続けるDNAに期待しています。本当にありがとうございました。



2012年双六杯 王者決定!



去る12月28日の納会終了後、双六杯年間決勝トーナメントが開催されました。双六杯は社員、協力会社、OBの麻雀愛好家の方々と構成されている麻雀リーグ戦で、2011年より開催されています。月例麻雀大会の成績に個別の麻雀競技の成績も含めて得点を集計し、年間王者を決定します。決勝トーナメントでは年間の成績順に4人ずつグループ分けして競技を開始し、得点によるメンバーの入替戦を2回行って、優勝者を決定します。年間累計成績によってハンディはつくものの、当日の成績により誰にでも優勝の可能性があります。

2012年の年間決勝トーナメントの優勝者は横浜支店の斉藤さんに決定しました。また、年間を累計した最高得点者に年間ベストグロス賞が授与されましたが、2位以下に大差をつけて北関東支店の古川さんが受賞されました。

(技術本部 矢野 尚志)



リレートーク



私の実家についてご紹介します。私の両親の職業は、専業農家です。この内容だけでは、普通なことだと思うかもしれませんが、場所が東京(都心から少し離れた)23区内にあるのです。このことを伝えると、多くの方が驚かれます。確かに私の実家の区内には、野菜農家は10件も存在しません。

私が子供の頃は、自分の両親の職業が正直好きではなかったです。理由は、珍しい職業でなぜか恥ずかしかったからです。でも、学生の頃は、学校が休みになれば手伝いをさせられていました。唯一楽しかったのは、地域等のお祭りに野菜販売のお店を出したことです。数百円でも売れると、とても嬉しかったのを覚えています。現在では、不思議ですが両親の仕事を誇りに思うようになりました。

2年ほど前に、会社の仲間たちと実家の庭でバーベキューおよび自宅内で飲み会を行ったこともありました。実際に来られた方は、敷地に入るとものすごく風景や自宅が古いことに驚かされていました。

次回は大阪支店・稲垣 大輔さんです。

(東京第三支店 並木 祐一)

卒業&新メンバーのご紹介

開発営業部 岡田 珠代

信氏さんから引き継いだ新聞委員のバトンをお返しすることになりました。これまで、無理なお願い、急なお願いにも拘らず、忙しい中記事を書いてくださった皆さま、本当にありがとうございました。新聞委員になると、作成中に何度もチェックを行っているため発行日の楽しみがないのですが、これからは一読者として、発行日を楽しみにしたいと思います。今後、ますます充実した内容になることを期待しています!

米軍工事支援センター 信氏 美紀

このたび、新聞委員に「再任」されました米軍工事支援センター信氏です。いわゆる出戻りです(笑)。岡田にひきついたバトンを見事に返されました…仕方ないです。任命されたからには何とか協力できるような頑張りです! 皆様、嫌がらず…ぜひご協力お願いいたします!

MS部 鳥居 広明

この度、新聞委員会に加入しました鳥居です。ろっこう新聞は様々な方が読まれているため、大変責任のある仕事と感じております。まだまだ分からないこともありますが、一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

一 訃報 田川さん

元九州支店長である田川弘幸さんが10月21日癌によりご逝去されました。享年68歳でした。田川さんは昭和42年に入社され、平成21年7月に65歳で退職するまで六興電気一筋でやってこられました。持ち前の明るさで、多少のことにはへこたれず、常に前向きな方でした。支店長時代の経営会議でのエピソードなどは皆が思い起こすことでしょう。また、常々「自分は人に会うことが大好きで、人に会えば何か得るものがある」と言っておられたことも思い出します。今からが悠々自適という所での訃報に残念でなりません。謹んでご冥福をお祈りいたします。本当にありがとうございました。

(九州支店長 芹川 健彦)

